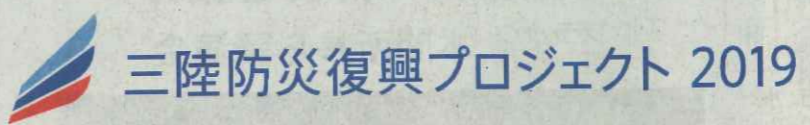


# つなぐあすへの備え

## 災害看護・公衆衛生

### 孤立防ぐ環境を訴え

県の三陸防災復興プロジェクトの第1回シンポジウム分科会は2日、釜石市内で開かれ、東日本大震災の経験などを踏まえて災害時の看護や公衆衛生、復興教育の在り方をテーマに関係者が熱心に議論を交わした。市内では、災害時に出勤する海上自衛隊の特務艇の一般公開など体験型イベントも繰り広げ、子どもからお年寄りまで幅広い世代が防災意識を高めた。プロジェクトは8月7日まで。今後も沿岸13市町村を舞台に多彩な催しを通じて震災の教訓や復興の歩み、三陸の魅力を国内外に発信していく。



#### 釜石でシンポジウム分科会

災害看護に関する分科会は釜石市大町のTETTO(テット)で約90人が参加して開かれた。東日本大震災や熊本地震の現場で支援活動に携わった発表者らは被災者が孤立せず、交流できる環境の必要性を口々に訴えた。

基調講演で、ヘルスプロモーション推進センター(横浜市)の岩室伸也代表は大震災後の陸前高田市で被災者の健康づくりに携わ

った経験を踏まえて「住民同士が対話できる環境があればこそ長く続けられる」と説いた。

パネル討論では3人が発表。熊本市で認知症や介護予防に取り組むくまもと健康支援研究所の松尾洋社長は熊本地震後、避難所などで住民が集えるカフェの運営や植樹活動を企画し、生活再建後も通える場をつ

つた事例を紹介。孤立しそうな住民を「見つけ、つなぎ、支えることが大切だ」と語った。

県立中央病院(盛岡市)の小野寺直子特任看護師は大震災当時、内陸部では被災地のニーズ把握が難しく、知人からその知人につないでもらい、情報を入手した苦勞体験を説明。床ずれケアや予防の支援活動に



災害看護についてパネル討論する(左から)佐々木ひろ子さん、小野寺直子さん、松尾洋さん

釜石市食生活改善推進員協議会 会長 佐々木ひろ子

岩手県立中央病院 特任看護 小野寺直子

#### 三陸防災復興プロジェクト2019の主なイベント

| 主なイベント        | 開催時期       | 開催自治体                             |
|---------------|------------|-----------------------------------|
| 三陸防災復興シンポジウム  | 6月28、29日   | 久慈市                               |
|               | 7月19、20日   | 大船渡市                              |
|               | 7月26、27日   | 宮古市                               |
| オールいわて祭りイベント  | 7月13、14日   | 宮古市                               |
| さんりく音楽祭       | 6月22日      | 大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市、田野畑村、久慈市、洋野町 |
|               | 7月31日～8月4日 | 宮古市                               |
| 三陸国際ガストロノミー会議 | 6月10、11日   | 宮古市                               |
| 三陸美食サロン       | 6月1日～8月7日  | 沿岸13市町村                           |
| 三陸ジオパーク       | 6月15日      | 釜石市～大槌町                           |
| フォトガイディング     | 7月6日       | 普代村～野田村                           |
| さんりく文化芸術祭     | 7月13日      | 釜石市                               |
|               | 6月1日～8月7日  | 沿岸13市町村で作品展示                      |
| さんりく絆スポーツフェスタ | 7月14、28日   | 陸前高田市                             |
|               | 7月27日      | 釜石市                               |
|               | 6月15日～8月4日 | 山田、大槌、洋野、岩泉、住田町                   |
| 三陸鉄道企画列車      | 期間中、複数回    |                                   |
| クロージングセレモニー   | 8月7日       | 陸前高田市                             |

#### 参加者ひとこと

**盛岡市月が丘 岩手大教育学部1年 渡辺 早紀さん(18)**

津波や防災教育について詳しく学びたいと考え、復興教育に関する分科会に参加した。報告や議論を通して地域、学校、家庭のつながりが重要だと再認識した。東日本大震災を知らない世代にどう事実や教訓を伝えていくか、大学で新設された必修科目「学校安全学」でしっかり学んで将来に生かしたい。



#### 地域連携 大切さ実感

**秋田県三種町 秋田大大学院 信太 大節さん**

釜石港で陸上自衛隊を訪問し、復興教育を伝えるプロジェクトを学ぶ。多くの人が防



ご着けるまで時間を要したとして平常時から保健、医療、福祉機関などの連携づくりが必要だと訴えた。

地元の発言者として釜石市食生活改善推進員協議会の佐々木ひろ子会長は「震災で誰かを助け、支え合うことを学んだ。地域で健康づくりの輪を広げていく」と述べた。

復興教